

編輯室內外

暑中半休の廢止が世間では問題にされて居るが吾人の如き月刊雜誌の編輯に浮身をやつさなければならぬ者に取りては何等問題にならない、新居格氏の如くに「夏は夏で面白い、夏は味爽に起きて爽涼の時間を利用して、蒸下りに休憩或は假睡して生氣を取り戻し、また晩涼夜涼を樂しむならば特定の暑休などは不用に近い」との御論を旺くの特異性を持たない筆者は黙々致々として暑苦も忍び防空の不便にも耐え茲に八月號を讀者各位の机上に呈することを得た、仕事を完了しての快心、竟に是れ冷靜動熱銷夏の心境か。若し夫れ本誌表裝の新なるを見取て白紙に歸るとの心意氣を現示するにはあらねど新に水野會長の染筆を乞ひ筆硯を改めて邁進する所あらんことを庶幾するものである。

西にダンチヒ問題あり、東に天津問題あり、惱は深い傀儡師を以て矜持する老大英國よ、西に傾ける太陽は中天に引戻すことば絶対不可能事である、總明英資のチェンバレン首相の胸中や如何。

極東問題を局部的天津事件に限定せんとするも病源を醫せずして身體の安定を計るの愚策たるに過ぎない、知日派のクレイギ大使をして如何に努力せしめても十五日

の第一次會見、十九日の第二次會見、二十一日の第三次會見に於ても唯大使を苦惱せしむるに止まる、百八十度の轉向は英國の面子に關する、と面子論に終始しては折角ハーバート領事ビコツト少將の如き知日派を以て協調の態度に出てたる秘策も水泡に歸せんか其協定の成立は實に相互の幸である。有田外相クレイギー英大使の會見を直に中止し武力を以て租界を還元せしめよと絶叫する日本人がである、東亞新秩序の建設を目標として進向しつゝある我國の針路は武力斷行に依つてのみ決定せらるゝことなきは炳として明かなる所である。

ソ聯の行動は愈々出て、愈々恠しきまざるを得ない、繰り返し繰り返す滿蒙國境暴擧の不法は云ふまでもなく北海漁業阻止問題北樺太採鑛探炭油妨害問題の如き其の本意那邊に存するにや、戦はんとな欲すれば男らしく戦ひ、和せんと欲すれば心持ちよく和せよ、戦ふが如く和するが如く曖昧模糊の裡に自らを利せんとすることは吾々純眞卒直な日本人には耐へられない所である。

抗戦の前途に希望を見出し得ない悲觀主義者に過ぎないと汪兆銘の聲明に對し蔣介石は批判を降して居る、抗日の前途は洋々たりとの希望に燃えて樂觀主義を持つ蔣介石、ソヴェットの思惑と英國の狐拳的外交に

期待して何を求め得べきか。

本戸内相は全國經濟部長會議に於て戰時好景氣の影響を受け不相應なる浪費を行ひを占むる者に對し深甚なる警戒を求めらる、善哉善哉、致えざる民に道を行へと解するに於ては經濟部長も窮せざるを得ないであらうがソコに官吏といふ役目をもつ先づ身を以て模範を示すことが第一義であらう。

道路舗裝の普及と重要道路の整備とを要しないが財政當局がないことは敢て多言を要しないが、如何に善處すべきか内務當局を援助した時に如何に善處すべきか内務當局の役割をもつ團體に交通協會がある、日本道路技術協會がある、道路改良會がある、ガツチリ腕をくんで戮力其の任に當らんかなである。

定價一部 五十錢  
一ケ年分 金六圓  
發行所 東京市麹町區霞關一丁目内務省  
社團 道路改良會  
電話銀座(57)四二七  
東京市世田ヶ谷區代田壹丁目七八〇番  
發行所 小島 鳥 效  
編輯者 小島 鳥 效  
印刷所 東京市小石川區諏訪町五六  
印刷者 常磐印刷所  
奈良直一